

第23回 盛岡市民演劇賞 観客賞投票結果



投票受付期間: 令和7年4月1日(水) 10:00～令和7年7月10日(木) 21:30まで

投票総数: 30票(うち有効票数30票)

公演団体	公演名	獲得票数	推薦理由
劇団ちりぢり	舞浜騒乱事件	7票	◇堅実な作劇の骨組みの外側に、夢と希望とフィクションと爆破が詰まっていた。演者、スタッフワークともに観客を狂気の渦に巻き込み、共犯者に仕立て上げようとしており、劇団ちりぢりだからこそその演劇空間と関係性を作り上げていたところに感動と感銘を受けたから。
			◇ちりぢりらしい攻めた舞台美術や脚本が本当に面白かった。
			◇役者陣の全力の演技が印象に残っている。かつ、ストーリーも楽しかった。
			◇いちばん好みだったから。
			◇著作権や国際問題などデリケートなテーマに果敢に踏み込みながら、そんなことを忘れてしまうほど、異様で奇妙で、それでいてなぜかしくりくる世界が広がっていました。舞台美術・照明・音響・衣装・そして役者の大声や奇妙な動きが全力で暴れ回り、劇場全体が「ちりぢり」という名の狂気に包まれていました。脚本もまた印象的で、友情や憧れがやがて失望を得て憎しみに代わり、「見返してやる」という怒りの裏に「本当は仲直りしたい」という未練がひっそりと潜んでいる。この感情のねじれに振り回されながら、気づけば心を奪われていました。常識を軽やかに飛び越えつつ、人間の本質を鋭く突いてくる。そんな「劇団ちりぢり」らしさが、これでもかと詰まった素晴らしい作品でした。
			◇面白さをふんだんに浴びせていただいた為。とても印象に残っています。
トラブルカフェシアター	杜鵑の棲む家	6票	◇石井県令邸の一室を舞台とした事で役者の息づかい、感情の起伏が肌で感じられ、臨場感あふれる作品でした。ダブルキャストでの公演により、同じ脚本でもそれぞれの座組の個性が炸裂し、楽しめました。
			◇ほとんどがダブルキャスト&劇場でない場所での公演が複数回観る価値を生み出していた。全く違う物語のように感じられて楽しむことができた。
			◇とにかく雰囲気良かった。それにぴったりの脚本だったし、観劇後の満足感が半端なかったです。
			◇旧石井県令邸という空間にマッチした脚本と、狭い空間の中に充満する緊張感に、観客としてまるで実際の一族のやり取りを覗き見しているような感覚になれた。狭い空間に複数人が密集していても、台詞を話している人が必ずどこかで見えるようになっていたので、作品に没頭することができた。 2週とも観たが、チーム赤の抑制された演技から生じる緊張感がとても好きだった。
			◇会場とマッチしていたことで印象が良くなりました。登場人物の書き分け、演じ分けが出来ていたことと、複雑なトリックで無かったことも、お芝居としての理解しやすさに繋がっていました(ミステリーとしては単純というか奥深さが足りないと思います)。また、すべてを説明しようとせず観客に想像させる部分があったのも、今回は効果的だったと思います。
			◇ストーリーと舞台(旧石川県令邸)のロケーションがマッチしていてとても良かった。ミステリー仕立ての流れに破綻がなく、盛岡の歴史にフィクションを交えたまさに盛岡で上演される/観劇する意義のある面白い作品だったと思います。 登場人物も個性的で役者陣の演技も良かったので、ラインナップで観劇したなかでは最も記憶に残った作品です。
カンザスハリケーン	青嵐	4票	◇世界観がとっても素敵でした。作り込まれた演出や衣装が印象的で、ラスステしか行けなかったのが悔しいです。もっと色々な角度から観てみたかったと思う作品でした。
			◇ぶっ飛んだ美しい舞台セットと客席配置。ラストシーンの各セクションの息の揃い方。素晴らしかったです
			◇極上のファンタジーでした。メインの物語もですが、脇それぞれの物語にも惹き込まれました。妥協のない衣装も良かったです。
			◇カンザスハリケーンらしい、ロマンにあふれた作品。来場者に全く別の世界を見せるのが演劇ならば、これほど演劇らしい舞台もないのでは。アニメでも映画でもない、巨編ファンタジーを生身の人間が演じる凄み。キャラ立ち抜群の登場人物たちは、揺るがない強さを持っているように見えるが、彼らが実は弱さ、葛藤、忘れられない過去を持っていることが明かされていく様子はドラマチック。出会いが運命を変える壮大なファンタジーを描き切った。特殊な舞台装置、音響も非常に効果的で、殊に衣装は白眉。素晴らしいクオリティ、絢爛だった。
演劇ユニット冷蔵庫ポルカ	二十四世紀カラオケトリップ倶楽部	3票	◇映像と照明を用いた演出が上手かった。カラオケボックスという具象舞台ながらもその空間ばかりに縛られることなく、自由な表現を成して見せた。 現役高校生の旗揚げという点を考慮せずとも、間違いなく盛岡の演劇シーンに衝撃を与えた一作といえるだろう。
			◇ずっと観ていたいと思えた。
			◇作品自体は荒削りな面もありました。しかし、まさに「鮮烈」という表現がピッタリでした。また、この団体の将来が楽しみ！という期待値がとても高いので選びました。 ちなみに、観客賞について、6月末にXで「演劇人のモチベです」とポストしていた劇団がありましたが、今回ノミネートされた団体すべての総意を代弁した言葉ってことではないのでしょうか？

劇団赤い風	犬神	2票	◇劇団旗揚げ以来、幾度となく公演を重ねてきた「犬神」に、演出初挑戦の永井志保が新しい風を吹かせた。 これまで多くの寺山作品を公演してきた歴史の中で、劇団赤い風には、独自で積み上げてきた演出の蓄積がある。しかし、今公演においては、それらの洗練された演出を一部踏襲しながらも、寺山の戯曲を真摯に再現するという試みが行われた。このことは、没後40年以上経った今も寺山人気が続く理由であろう、「寺山修司の世界を一度でも見てみたかった」という現代人の羨望に対する、一つのアンサーの形になりうる。J・A・シーザー率いる演劇実験室?万有引力が、本来の寺山からの守破離を行ったり来たりしているように、永井志保が試みた「戯曲の復元」は、おきあંગに嗅ぐ寺山の空気を、薄まりきる前にもう一度充填しようとする行為だと感じられる。 このような、同劇団としては新しい演出を試みる一方で、老舗ならではの安定感のある芝居も観せてくれた。盛岡演劇では珍しく客演無しで仕上げた本公演は、その練度の高さが評価できる。主演は、咲山春菜と綾愛によるダブルキャストで組まれ、咲山春菜は堅実な芝居を、綾愛はアグレッシブな芝居をそれぞれ観せた。それに呼応するように、音響・照明の演出にも静と動の違いがつけられ、両ステージ共に発見のある仕組みとなっていた。それを支えるのが、大森健一、菊池与志和両氏のインパクトのある芝居である。舞台上での彼らの存在は、観客の精神力を一局所に集める焦点となり、緊張感のある世界を見事に構築した。加えて、高井翼が手掛ける劇中音楽は、アングラ特有の異様さや圧迫感をコントロールし、増幅させるする機能を果たしていた。 第1ステージに至っては、菊池与志和の鬼気迫る咆哮の後、あまりに頓珍漢なエンディング曲が流れ出したため、終幕後に一切拍手が起こらなかったことが、観客達の過集中を傍証する象徴的な出来事と言えるだろう。 以上のように、同劇団が伝統的に培ってきた完成度の上で、純度の高い寺山を呼び戻さんとする試みが融合した、クラシカルな舞台を着実に展開した同公演に一票を投じる。
ライナー・ノーツ	まだここで息をして	2票	◇舞台の作り方、客席の配置の仕方、演者さんの演技全てが素敵だった。音響もとても印象的でした。 ◇登場人物ひとりひとりの小さな感情の動きを、悲しみや思惑を、覗き見することを許されているような空間だった。自然な感動を受ける経験ができたのが、今作を選んだポイント。観終わった後のどこか不思議な爽快感のある感情は、今も忘れることができません。
寺山修司演劇祭実行委員会	お月さまが消える夢	2票	◇すべての役者さんが楽しんで演技しており魅力的で全員のファンになりました。もっと観ていたいのに終わってしまった～という印象でした。舞台の観せ方もステキ(奥で蚊帳のようなものを通しての演技)狭い空間の中でもこんなに魅せることができるんだと感銘を受けました。寺山修司さんのファンはたくさんいるのは知っていますが、私自身は無知でありいつも構えて観てしまいますが、内容は非常に解りやすかったです。 ◇寺山修司氏の自伝を読んでから見たので、彼の母との関係や心の葛藤があらわされていた。狭い空間を上手に段組みし、時にスクリーン映像と俳優の動きをマッチさせる(さいのかわらや押し花)のはとても印象的でスマートだった。衣裳やメイクもすばらしかった。
劇団ゼミナール	TENYAーWANYA(てんやわんや)	1票	◇劇団ゼミナールさんは毎回安心して観れる劇団だから。
ライナー・ノーツ	けして、パレードは続けども。	1票	◇舞台美術、照明、音響、衣装を含めて作品の世界観を包むように、引き込むように、脚本、演出、役者を支えていたから。
もりげき八時の芝居小屋第189回公演八時の芝居制作委員会プロデュース	蒔くしたてる	1票	◇笑いとしての面白さとストーリーとしての面白さがピッタリとハマっていて見ていてとても楽しかった。高校生が体現する高校生を見て儚さ、脆さ、美しさを感じました。ストーリーが個人的にすごく好きなので選定させていただきました。
テラコッタパンナコッタ	六本木少女地獄	1票	◇難解な既成作品に挑む姿勢が良かった。舞台美術など1歩足りない部分もあったが、一つの世界観として楽しめたと思う。

～投票へのご協力、ありがとうございました～